

事務事業名	2・3歳児母親クラブ育成事業	整理番号	11101-000
所管	児童館		

事務事業の位置付け

期間	平成52年度 ~ 平成年度	根拠法令・要綱等	
基本計画における位置付け	基本政策 1-1 心豊かな人づくり 政策 1-1-1 乳幼児期の教育の充実	関連政策	5-3-1 少子化への対応 1-4-3 ボランティア活動の促進

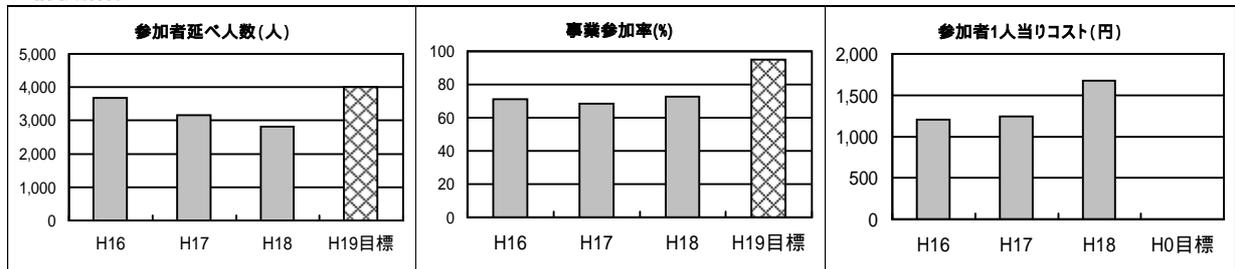
事務事業の内容

目的 (何のために)	親子のふれあい、友だち探し、子育ての情報交換及び集団生活のルールを知り、児童の健全育成に寄与する
対象 (誰・何を)	幼児(2歳児及び3歳児)とその母親
手段 (どのようなやり方で)	毎年度募集し、子どもの生年月日順にグループ分けし毎週火曜日から金曜日に児童館を拠点に活動。各グループ毎に活動(季節の行事、ボランティア活動等)
成果 (どのような状態にしたいか)	親と子の共通の子育てについて母親クラブを通じ、子育ての悩みや意見交換等により会員相互のコミュニケーションを図り互いの子育ての悩みを解消し、会員相互の親睦を図るとともに遊戯や遊びを通じ多くの友達作りの場になっている
事務事業の背景・住民の意向	核家族化している現在、幼児を抱えた母親において共通の課題である子育ての仲間、友だちを望んでいる。これらの要望に対し、機会と場を与える事業として必要とされている
見直し改善の経過	子育て支援事業による幼稚園、保育園の実施により3歳児クラブの入会者は減少している中2歳児クラブの要望が増加しているため2・3歳児クラブとして対応している

事務事業の実績・投入コスト

年度	事務事業実績	投入コスト(千円)
平成16年度	3歳児クラブ2クラブ 55組、参加延べ人数1638人 定員延べ人数2136人 2歳児クラブ4クラブ 138組、参加延べ人数2042人 定員延べ人数3036人	
平成17年度	3歳児クラブ1クラブ 28組、参加延べ人数1120人 定員延べ人数938人 2歳児クラブ4クラブ 167組、参加延べ人数2042人 定員延べ人数3674人	
平成18年度	3歳児クラブ1クラブ 25組、参加延べ人数784人 定員延べ人数1200人 2歳児クラブ4クラブ 120組、参加延べ人数2032人 定員延べ人数2664人	

評価指標



事務事業の評価

観点別・一次評価(担当部署の評価)		コメント	今後の方向性
観点別評価	必要性	毎年度多くの応募者があり、少子化対策、子育て支援対策に貢献すると共に市民のニーズに答えることができるためこのまま継続したい。	継続
	有効性		
	効率性		
一次評価	B		
二次評価(行政評価委員会の評価)		コメント	今後の方向性
二次評価	B	参加人数及び参加率の低下等を考慮し、事業内容の見直しが必要と思われる。	継続

改革プラン

平成19年度からの対応	3歳児クラブは継続し、2歳児クラブについては他にこのような事業がないため参加要望が増加しているため定員数を増やして市民のニーズに応える。
平成20年度以降の対応	同上
改革により予想される成果	応募者(2歳児とその母親)の入会者が増え子育て支援事業の充実が図れる